

○被ばく線量について

当院における被ばく線量は下に示す通りであり、DRLs と比較しても概ね低線量になります。診断に影響がないよう考慮した上で、被ばく低減をなせるよう設定していますのでご安心ください。

DRLs とは診断参考レベルといい、放射線診断で用いられる標準的な線量を調査し、それに基づいて導入されたものになります。DRLs よりも上下している線量が悪いという意味ではありませんのでご注意ください。

一般撮影		
撮影部位	DRLs (mGy)	当院 (mGy)
胸部正面 (100 k V 以上)	0.3	0.06
腹部臥位	2.5	0.43
乳児胸部 (0～1 才)	0.2	0.06
小児胸部 (5 才)	0.2	0.04
頭部正面	2.5	0.35
頸椎正面	0.8	0.19
胸椎正面	3.0	0.44
胸椎側面	5.0	1.38
腰椎正面	3.5	0.85
腰椎側面	9.0	1.69

CT		
撮影部位	DRLs (CTDIvol:mGy)	当院 (CTDIvol:mGy)
頭部	77	64.3
胸部	13	9.3
胸部～骨盤	16	10.6
冠動脈	66	40
小児頭部 <1 歳	30	31
小児頭部 1 歳～<5 歳	40	37
小児頭部 5 歳～<10 歳	55	32
小児頭部 10 歳～<15 歳	60	53.5

当院における CT による被ばく線においては、線量管理システムにより管理されています。当院 CT 装置における、これまでの検査歴や検査毎の線量が適切であるかどうかなど、管理をしております。